

授業情報 / Class Information

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)

2022/05/18 現在 / As of 2022/05/18

- [基本情報 / Basic Information](#)
- [詳細情報 / Detailed Information](#)
- [授業計画詳細情報 / Class Schedule Details](#)

基本情報 / Basic Information

開講科目名 / Course	全学総合講座(経営者が語る現代企業論1) / INTERDEPARTMENTAL LECTURES (BUSINESS MANAGERS DISCUSS CONTEMPORARY CORPORATIONS 1)
開講所属 / Course Offered by	大学全カリ総合科目 /
ターム・学期 / Term・Semester	2022年度 / 2022 Academic Year 春学期 / SPRING SEMESTER
曜日 / Day, Period	金2 / Fri 2
開講区分 / semester offered	春学期 / Spring
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	上坂 卓郎

担当教員情報 / Instructor Information

教員名 / Instructor	教員所属名 / Affiliation						
上坂 卓郎	経営学科 / MANAGEMENT						
授業の目的・内容 / Course Objectives	この講義は、企業のトップマネジメント経験者が業界事情や企業経営の実務をやさしく講義するものである。講義では広範な業種の企業が取り上げられる。講義の受講を通じて、学生諸君が「企業とはなにか」を考え、本学で専門知識を深く学ぶ意義を発見したり、将来の職業選択のヒントを見つける契機となる授業である。 なお、本科目は全学部の子生を対象としているので、企業や経営という言葉になじみの薄い学生にもわかるような平易な内容となっているが、時に専門用語も使用されることがある。						
授業の形式・方法と履修上の注意 / Teaching method and Attention the course	当授業は対面授業で行い、ライブ配信も録画配信も行わない。 講師陣は、日本を代表する大企業の元経営者である。毎回多様な業種（製造業、非製造業）出身の講師がオムニバス形式で、企業の経営戦略や意思決定の実際について講義を行う。また社会に出て働くことについて、講師ご自身の豊富な経験から貴重なアドバイスも与えられる。 概ね1年生でも理解できるように平易な説明が行われる。講義と平行して企業について勉強し理解を深めることを期待する。 毎回の講義を一般の講演のように聞き流す学生がいるが、毎回講義の中から自ら知識を掘り取る努力が必要である。また講師は実務経験豊富な慧眼の元企業経営者である。学生諸君が社会人候補として見られていることも忘れないように。遅刻・途中退出等は厳禁（事情がある場合は除く）。スマホの使用も認めません。授業の性格上独習はできない。特に就職活動を行う4年生は注意すること。 春と秋学期は講師陣、内容が異なるので、片方だけ受講しても支障ない。						
事前・事後学修の内容 / Before After Study	事前学修としては講師の属する業界地図や会社四季報などを参考にして調べること。 事後学修としては、配布された資料を基にノートを整理することや専門用語など理解できなかったことを調べること。本学では授業時間のそれぞれ2倍程度・4時間程度の授業外学習（事前・事後学習）が必要とされている。						
テキスト1 / Textbooks1	<table border="1"> <tr> <td>書籍名 / Title</td> <td rowspan="5">毎回講義資料を配布する。</td> </tr> <tr> <td>著者 / Author name</td> </tr> <tr> <td>出版社 / Publisher</td> </tr> <tr> <td>ISBN / ISBN</td> </tr> <tr> <td>その他（任意） / other</td> </tr> </table>	書籍名 / Title	毎回講義資料を配布する。	著者 / Author name	出版社 / Publisher	ISBN / ISBN	その他（任意） / other
書籍名 / Title	毎回講義資料を配布する。						
著者 / Author name							
出版社 / Publisher							
ISBN / ISBN							
その他（任意） / other							

テキスト2 /Textbooks2	書籍名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社 /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
テキスト3 /Textbooks3	書籍名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社 /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
参考文献等1 /References1	書籍名/サイト名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
参考文献等2 /References2	書籍名/サイト名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
参考文献等3 /References3	書籍名/サイト名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
評価方法 /Evaluation	定期試験期間中に試験を行う。追試、レポートによる評価は実施しないので特に4年生は注意すること。		
関連科目 /Related Subjects			
備考 /Notes	事前にPORTA II で周知するが講師が一部変更になる場合がある。		
到達目標 /Learning Goal	身近な難問や関心を学問に結び付け、現代社会に必要な教養を習得する動機づけとし、将来、様々な知的領域を探索できるようにする。		
回 /Time	授業計画（主題の設定） /Class schedule	授業の内容 /Contents of class	事前・事後学修の内容 /Before After Study
1	ICT社会におけるリスクマネジメント	外資系コンピュータ会社役員がコンピュータの進歩とコンピュータを利用するICT社会でのリスクを講義する	
2	生命科学での発展と医療への貢献	再生医療メーカー社長が大学の研究成果が医療の現場に届くまでについて講義する	

3	食肉業界の現状と課題	消費者が知らない食肉のビジネスについて食品会社役員が講義する	
4	銀行ビジネスの現状と課題	地方銀行役員が銀行の機能と地方銀行の実際について講義する	
5	変わる電力事業	電力会社役員が日本のエネルギー・電力問題の現状と将来について講義する	
6	化学繊維の素材が世界を変える	化学繊維メーカー役員が多様な繊維素材の応用について講義する	
7	化成品産業におけるビジネス創造	化学メーカー役員が科学の発明・発見とビジネス創造の関係について講義する	
8	ホンダらしさへのこだわり	自動車会社役員が自社のモノづくりの精神について講義する	
9	食品産業と新技術開発	食品会社役員がグローバル化する食品産業と新技術開発の動向について講義する	
10	コンビニエンス・ストアと流通の課題	コンビニエンス会社役員がコンビニエンスのIoT活用とビジネスの融合について講義する	
11	リクルート成長の軌跡	情報メディア会社の役員が自社をベンチャー企業発展のモデル例として講義する	
12	本と活字文化は未来への可能性を拓く「扉」だ	出版社役員が活字文化の存在意義、業界の特徴について講義する	
13	花王の成長戦略	化学メーカー役員が自社の絶えざる経営革新について講義する	
14	都市鉱山からの非鉄金属リサイクル	非鉄金属メーカー役員が有限な鉱物資源の活用について講義する	

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)